



ボランティア活動
地域のごみ拾い

6月3日、深川中学校が地域貢献の意識と協同して課題を解決する能力の向上を図るため、地域のごみ拾い活動を行いました。参加した生徒たちは事前学習で立てた計画を基に作業を行った後、校内でまとめ学習を行いました。



市内危険物施設
立ち入り検査

国が定める危険物安全週間に合わせ、深川消防署が6月6日から10日、市内危険物施設の立ち入り検査を行いました。この検査は、危険物の保安に対する意識を高め、各事業所での自主保安体制の確立を目的としています。



第22回深川春秋会

本市の活性化を目的に、市内の官公庁や関係機関の代表者で構成する深川春秋会の第22回会議を、5月23日に市内ホテルで開催し、それぞれの活動内容について情報交換を行いました。



瑞宝単光章伝達式

長年にわたり消防団員として地域の防災活動に尽力した、元深川消防団副団長の村上光男さんと元深川消防団分団長の菊池健治さんが春の叙勲で瑞宝単光章を受章し、6月13日に山下市長が勲章などを伝達しました。

第1回市民公開講座

【6月11日・拓殖大学北海道短期大学】



持続性ある農村社会へ
課題や対策を熱弁

6月11日、拓殖大学北海道短期大学准教授の村上良一さんを講師に迎え、本年度1回目の市民公開講座を同短期大学で開催しました。農業経済学を専門とする村上さんは、国が策定した「みどりの食糧システム戦略」に触れながら、持続可能な食糧の実現には有機農業の拡大が重要と説明した上で「学校給食に有機農産物を取り入れるなど、各地域で生産者を応援する消費活動や担い手の確保が必要」と訴えました。市民公開講座は、同短期大学の協力を得て、10月まで計5回の開催を予定しています。

市中心市街花街街道事業

【6月8日・3条8番】



商店街を満たす
「癒し」と「にぎわい」

6月8日、市中心街地の活性化を目的に商店街を花で彩る、市中心市街花街街道事業が実施されました。この日は、市商店街振興組合連合会や深川フラワーマスターの会、暮らしに潤い花を楽しむ会の会員など約50人が参加し、青空のもと額に汗を浮かべながら、用意された樽型のプランター180個へセンニチコウやヒヤクニチソウ、サルビアなどの花の苗を一つ一つ丁寧に植えていました。植栽後、色鮮やかに装飾されたプランターは商店街に並べられ、まちなかに彩りが添えられました。

2022ふかがわスプリングフェスタ

【5月29日・生きがい文化センター】

5月29日、コロナ禍の影響により3年ぶりとなった2022ふかがわスプリングフェスタを生きがい文化センターで開催しました。このイベントは、緑化の推進や環境保全、消費に関する意識を高めることを目的に開催しているもので、深川小学校ブラスバンドによる演奏会を皮切りに、園芸市やフリーマーケット、花の寄せ植え教室など、さまざまな催しを行いました。会場では、花の苗の無料配布や緑・環境・消費に関するクイズが人気を集め、訪れた市民らは久しぶりの春の祭典を満喫していました。

緑と花があふれる
春の祭典



第2回育児講座「消防士講話 とっさの時の手当て」

【5月31日・子育て支援センター】

あなたの手で守る
大切な命

第2回育児講座「とっさの時の手当て」を5月31日に子育て支援センターで開催しました。今回は乳児の救命措置をテーマとした内容で、深川消防署員を講師に迎え、心肺蘇生の手順やAED（自動体外式除細動器）の使用方法、気道に詰まった異物の除去方法などについて学びました。また、模型を使用した心肺蘇生の実技指導が行われると「想像以上に力が必要だ」「力の加減が難しい」などの声が上がリ、参加した保護者らは救命措置に対する理解を深めていました。



▼女性のためのアンチエイジングプログラム
(6月9日 武道場)



▲北空知中学生野球大会
(6月11日 市民球場)



▲小物入れ作り
(6月18日 生きがい文化センター)



教科書展示会

6月11日から28日、教科書の適正な採択と教育関係者の研究に資するため、教科書展示会を開催しました。期間中は、市内小・中学校や高等学校で使用されている教科書などを展示したほか、意見募集を行いました。



田植え体験

深川小学校の田植え体験を5月24日に市農業センターで行いました。この取り組みは、本市の基幹産業である農業の作業体験を通じて、知恵や豊かな感性を育むことを目的としており、本年は市内全小学校で実施しました。